

# 談呆国憂

season 2 VOLUME 59

今月の憂い  
日本の国際芸術祭から、  
アール・ブリュット、  
沖縄の基地移設問題、  
ローマ教皇の発言まで。  
東京・世田谷区で旧・池尻中学校を活用する  
「1D 世田谷ものづくり学校」で、  
3Dプリンターの制作現場を訪ねた田中・浅田両氏。  
職員室だった「プレゼンテーションルーム」で、  
アートの見せ方や、世界との付き合い方を論じた。

photographs by Hiroshi Takaka text by Kentaro Matsui

浅田  
彰

田中  
康夫

## アール・ブリュットも、消費社会の歯車の一つに?

浅田 少子高齢化であちこちの学校が閉校して、I・I・D 世田谷ものづくり学校のように空いた校舎を市民の学習の場として活用するのはいいことだね。NHK『週刊こどもニュース』の「お父さん」だった池上彰が今や大人向けの番組で解説者として引つ張りだ。こつては、日本人の大半が「こども」になつちやつたこと

で、嘆かわしいかぎりだけど、それとは別に、大人になり老人になつて初めて学びたいと思ふこともあるわけで、そういう「一億総学び社会」つてのは悪くない。廃校をアート・センターにするつてのは、ニューヨークの『PS1』(Public School 1)なんか

に始まつて、京都でも昔の明倫小学校や立誠小学校がアート・センターになつて、けど、狭義のアートを越えたものづくりの学校つてのもいいんじゃないかな。

田中 ニューヨーク近代美術館MOMAの別館にあたる『PS1』はクイーンズの倉庫街にあつて、開館当初に訪れたけど、刑務所から出所した青少年を社会復帰の一環としてスタッフに雇つていた。偽善だと中傷する人たちもいたけど、アフリカの新芸術を展示するなどユニークな活動を行つていて、あれはあれでいいと思う。

浅田 トンガリすぎてマンハッタンではやりにくいようなこともクイーンズの『PS1』ならやれるつて感じだったからね。そこも大事な点で、子どもや退職者向けの衛生無害なカルチャー・センターにとどまつてちやダメ。

そういう意味で、行政がアートを甘く見る傾向はよくないな。北川フラムや福武總

一郎による「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」や「瀬戸内国際芸術祭」が成功したことでアートによる地域おこしがやたらに流行して、アートはハイテク産業なんかより安上がりだから使つてのはアートをナメてるし、そんなことじや本場の地域活性化にもならない。

田中 1970年代に富山に拠点を移し、合掌造りの民家を劇場に改装して活動していた鈴木忠志の頃まではよかつたかも。

浅田 世界の劇団を利賀村(現・南砺市)に呼ぶ一方、鈴木忠志の劇団SCOTは利賀村に住み込んで活動してたからね。

ちなみに、「PARASOPHIA 京都国際現代芸術祭2015」つてのが始まつた



けど、他の国際芸術祭に比べて予算が少ない、かといつておカネをかけずラディカル

ズムに徹するわけでもない、何とも中途半端な内容。メイン会場である京都市美術館の向かいにある京都国立近代美術館では、台湾のヤゲオ財団コレクション展つてのが巡回してきて、これは成金コレクターのお宅拝見みたいなひどい内容、それに比べれば「PARASOPHIA」はマジメにやつてるんだけど、坂本龍一がエコロジー

をテーマにした「札幌国際芸術祭2014」や森村泰昌が表現不可(能)をテーマにした「横浜トリエンナーレ2014」なんかと比べて、焦点が絞られてない。ヴェネツィア・ビエンナーレに人が集まるのは展

示が期待外れでもヴェネツィア自体が魅力的だから、日本でそれができるのは京都だけだから、もつと本気でやればいいのに。芸術祭のディレクターに外国人を登用しないのも問題。東アジアの芸術祭でも外国人をディレクターにしてる例はたくさんある。逆に、長谷川祐子なんかは、イスタンブール・ビエンナーレやシャルジャ・ビエンナーレのディレクターを務めたことがある。ところが日本の芸術祭のディレクターは日本人だけ。それで十分な予算もなく内向きの地域おこしとかに終始しちゃうわけよ。「PARASOPHIA」は蔡國強の作品をフィーチャーしてるんだから、たとえば彼をディレクターにしちゃうとか、

とでやつたのが気に入らない、と。でも、上田市長は自分の言葉でアートを語れる人物だった。残念ながら引退して、後継者である秋元克広副市長が市長選に勝つたのはよかつたけれど、さて今後どうなるか……。

田中 この間、「世田谷文学館」で開催された「岡崎京子展」に出かけて思ったんだけど、重度の意識障害状態が19年前の事故から続く彼女自身も、この展覧会の開催を望んでいたのかなつて。もちろん、展示自体は素晴らしいもので、大勢の老若男女が訪れてはくれたけど、だからこそ余計にいたたまれなさを感じた。著作だけでなく、彼女のイラストがプリントされたマスキングテープまで販売されているのを見ると。

浅田 そう、元気な頃の本人と付き合つて、対談もしただけに、表に出てこれなくなつた彼女の展覧会を勝手に見るつてのにもどうも抵抗があつて……。

その意味で言うと、日本財団のサポートで全国に美術館ができて脚光を浴びてる、精神障碍のある人たちのアール・ブリュット(アウトサイダー・アート)に関しても、微妙な問題はあるね。鞆の浦の『鞆の津ミュージアム』でやつた「LOVE LOVE SHOW」は、近くにアトリエのある小林正人の絵が障碍者の絵と並んでたりして面白かつたけど、たとえば、男性の障碍者が施設の男性職員を好きになつて、その職員を捨てたゴミまで拾ひ集めた克明な「ストーリー記録」みたいなものがある、それはもちろん本人と家族の承諾を得て出してるつていうんだけど、こういうものをパブリックに晒していいのかつて疑問は残るな。その延長で草間彌生まで行けば、精神を病み、しかもアーティストとして活動してるつてことを、本人が明確に公言してる

いくらでも方法はあるのに。田中 芸術祭なんぞに行政が税金をつぎこむべきでないとティーパーティー運動的な議員が述べたりするけど、そういう単純な視点でなく、金額の多寡に関係なく単に代理店に環流して事業が終わつてないか、どう



から、それはそれでいい、じゃあその障碍者も同じことだって言えなくもないけれど……。

田中 『東京ペログリ日記』単行本(1995年刊)の装幀にアロイーズ・コルパスの作品を用いたの思い出すなあ。ドイツ帝国最後のフリードリッヒ・ヴィルヘルム2世に一方的に恋い焦がれた彼女は色鉛筆やクレヨンで独創的な作品を描いて、ジャン・デュビュッフエらに見いだされる。そのデュビュッフエが創設した「生(き)の芸術」を意味するアール・ブリュット・コレクションにもW嬢(家内)と献本しに訪れたけど、魑魅魍魎(ちみりょう)なローザンヌというIO(総本山)の街に精神障碍と向き合う人々の美術館があるのは実に象徴的だった。

他方で知事時代に県民栄誉賞を贈呈した松本出身の草間の活動も素晴らしけれど、最近ではあまりに量産してアートの「生産マシーン」になっちゃってる懸念を感じる。民主主義と商業主義の社会では、アール・ブリュットのアーティストたちも気づけば消費社会の歯車の一つに組み込まれていたってことになるから留意しないとね。

### アジアインフラ投資銀行に日本は入る？ 入らない？

田中 中国が提唱して今年中に業務開始を目指すアジアインフラ投資銀行(AIIB)だけど、イギリス、ドイツ、フランスを始めとするEU各国やASEAN、インド、韓国、オーストラリアと57か国が創設メンバーとして参加を表明。賢明な選択肢としては、いち早く日本も名乗り出て、中国の覇権主義に歯止めを掛けるべきだったのに、公平性と透明性の担保が不十分だと四の五の言ってるうちに乗り遅れてしまった。実

は世界銀行やIMF(国際通貨基金)、アジア開発銀行(ADB)だってアメリカ主導で、胸を張れるわけじゃないのにな。

GDPの横ばいが続く日本とは対照的に、自動車をはじめとする中国への輸出をテコに15年間でGDPを2倍にし、加えて今年から新規の国債発行も実質ゼロとなって無借金財政へと大転換した「優等生」ドイツに対抗して、EUで最初にイギリスが手を挙げた。ロンドンと、香港か上海を2大オプショア市場に仕立て上げようという戦略だし、今のところは表向き様子見状態のアメリカも、金融資本という無国籍企業はイギリスと兄弟関係だし、これでアメリカも参加した後に日本がお出かけしても、ミツグ君で終わってしまう。

日本のゼロ成長よりははるかに高い中国の7%の経済成長もベースダウンしてきているし、李克強指数と呼ばれる別指標では5%。その中国の焦りにもっと早い段階で気づいて、ものづくり大国として主戦場の

### 田中康夫

たなか・やすお●1956年東京都生まれ。一橋大学法学部卒業。大学在学中に『なんとなく、クリスタル』で文藝賞受賞。長野県知事、参議院議員、衆議院議員を歴任。最新刊は『33年後のなんとなく、クリスタル』。

中国でドイツと張り合う日本も、イギリスのような深い戦略を立てるべきだった。

浅田 それが、日本はアメリカの顔色ばかりうかがって、AIIB参加でもヨーロッパに先を越される始末。いまとなつては、日本がリードするアジア開発銀行との共同融資を推進するとか、そういう協力の仕方がいいのかもしれない。とにかく、中国では共産党幹部が推進する巨大プロジェクトには銀行も融資せざるをえない、そういうプロジェクトが全国で乱立してて、不良債権はいまや天文学的な額に膨らんでる。日本のバブルなんかの比じゃない。国際化を進めることで国内の金融部門を改革できればいいんだけど、うまくソフト・ランディングできるかどうかは難しいところ。

田中 中国の「一带一路」構想と並んでAIIBは次回でも詳しく語るとして、「世界の警察官」を任じていたアメリカも経済的かつ軍事的な余裕がなくなつて、「集団的自衛権」を含めて日本にそういう機運がある

ならありがたいという空気になつている。

浅田 安倍晋三首相も調子に乗って「わが軍」なんて発言し、反省もなく海外派兵に向けて一直線(苦笑)。そういう政府の姿勢に異を唱えるためにも沖縄県民は知事選で米軍基地の辺野古移設に反対する翁長雄志を選んだのに、知事からの異議申し立てを政府がすべて門前払いにしてるのは異常だよ。仲井真弘多前知事の頼ったを札びらで叩いて移設を認めさせ、反対派の現知事になつたとたん財布の紐をぐつと絞っちゃうつても、あまりに露骨。

田中 普天間基地の辺野古移設に関して今後、翁長知事が判子を押す必要がある書類は6、7種類あって、それを彼が全部拒んだらどうするんだろう。2000年に施行された地方分権一括法で委託事務になつているものを辺野古関係だけは国がやると例外措置を取つたらあまりに恣意的なもの。「肅々」は上から目線だ」と菅義偉官房長官との会談で語つた翁長知事の冒頭挨拶全文が『琉球新報』のHPにアップされていた。なかなかの説得力で「全国の面積のたった0・6%の沖縄に73・8%の米軍専用施設が置かれている。普天間が返還され、辺野古に行つて(面積が)4分の1になると言うが、どれだけ基地が減るのか」と(防衛大臣に)聞いたら今の73・8%から73・1%にしか変わらない。0・7%だ。こういった話がされること自体が日本の政治の墮落ではないかと思う」と。

浅田 そう、安倍政権は沖縄を属州くらいにしか考えてないから。

田中 もう一つは、本土から移住してくる人は多く、出生率も高い。でも沖縄返還以降、沖縄振興費として16兆円も使つてきているのに県民所得は約212万円でいまだ



に全国最下位。でも他方で1億円以上の資産家も多くて全国的にも上位で「格差」が激しい。そういう沖縄内部で起こっている問題の原因は本土側にあるはずなのに、その本土にはあまり伝えられない。

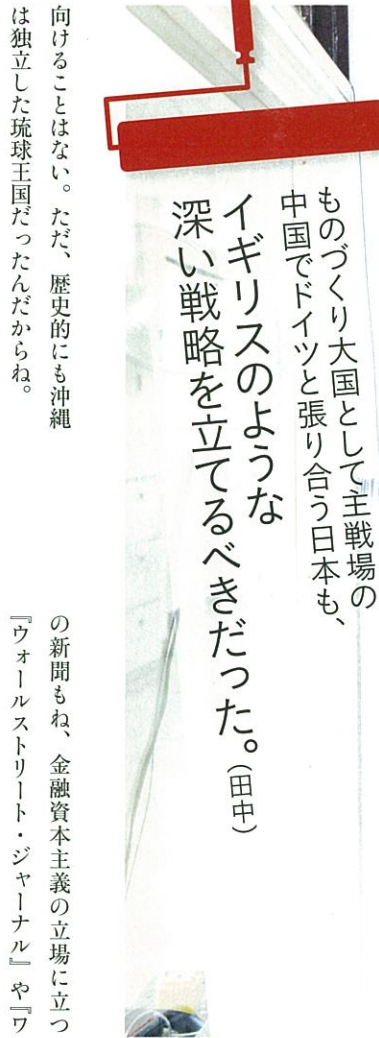
実は海兵隊のトップが上院の軍事委員会でこのまま辺野古移転を強行するのは憂慮すると発言する一方で、国防総省の次官は日本が決めたことだから移設すると述べる両腕みなんだよ。アメリカからすれば移設しようがしまいが、最終的にはグアム移転のための資金をいくら出してくれるんだという話でもあって、そのあたりを含めてもう少し繊細に大胆に対応しないと。

那覇は沖縄本島の南端から3分の1の場所、名護が3分の2、さらにその北の太平洋側には米軍の北部訓練場として手つかずな自然が広がる3分の1がある。発想の転換で、ジュゴンで騒がれる辺野古でなく、演習場の中に軍民共用空港を設け、自然に配慮した形でリゾートを造り、期限付きで将来的にはグアムに移転する。日本が提案すれば、アメリカも渡りに船なのにね。

浅田 そう、恒久化しないと称する基地のために辺野古の自然を破壊しちゃうくらいなら、まだ別の場所を考えたほうがいいよ。

ただ、田中さんの言うとおり、反対派の側も、基地に依存しない沖縄の振興策をもっと具体的に描いて見せなきゃね。極端な話、独立って手もある。そしたら沖縄の通貨の価値は円より大分下がっちゃうけど、それで競争力が上がれば沖縄経済も自立していける。ギリシャだって、ユーロ圏を離脱すればドラクマの価値が暴落する半面、それで競争力が上がれば最終的に経済は持ち直すわけだから。むしろ、それは沖縄の人たちが決めることで、われわれがそう仕

恒久化しない基地のために  
辺野古の自然を破壊しちゃうなら、  
まだ別の場所を  
考えたほうがいいよ。(浅田)



ものづくり大国として主戦場の  
中国でドイツと張り合う日本も、  
イギリスのような  
深い戦略を立てるべきだった。(田中)

向けることはない。ただ、歴史的にも沖縄は独立した琉球王国だったんだからね。

### 「原発はバベルの塔」と ローマ教皇が発言。

田中 ヴァチカンを訪れた日本の司教団と会見を行った教皇フランシスコが「原発はバベルの塔」と発言し、人間が思い上がって恣意的な動機で自分に都合のいい社会をつくらうとすると結局は文明や自分を破壊することになると語った。来年には来日の予定だけど、安倍首相との会談で「フクイチ」が話題になったら、日本のメディアはどう報じるんだろうね。

そうして、フランシスコの発言を導き出したのは自分たちとばかりに司教団は得意げだったけど、この対談でも繰り返し取り上げた2013年11月に発表した使徒的勸告「エヴァンジェリイ・ガウディウム（福音の喜び）」の翻訳を半年以上もサボっていたのが日本のカトリックだからね。日本

### 浅田 彰

あさだ・あきら ●1957年兵庫県生まれ。  
京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学教授。  
83年に出版されたデビュー作『構造と力—記号論を超えて』はベストセラー。



の新聞もね、金融資本主義の立場に立つ「ウォールストリート・ジャーナル」や「ワシントン・ポスト」が即座に一面で大きく報じたのに、今に至るも無反応だもの。  
仕方ないから僕が拙い語学力で、「多くの人々は貢献すべき仕事を得られず、その状態から抜け出ることさえ叶わぬ中で排除され・阻害され」人間もその存在自体、使用後には即廃棄に至る消費財と見なされている。かくなる「使い捨て」文化を我々は生み出し、しかも急速に蔓延している」と訳出して紹介する羽目に陥った（涙）。  
とまれ、教皇が来日したら吹上御所で今上、天皇と美智子皇后と長時間の3者会談を挙行して、ネットで生中継するのを熱烈キボンヌだね。「人種差別」発言で大炎上した「カトリック信者」の曾野綾子に説教する絵も見てみたいけど（苦笑）。  
浅田 「バベルの塔」発言で、早くも災厄を忘れて再稼働に突っ走る者たちの傲りを戒める教皇の発言は明快だった。他方で地

球温暖化対策は急務だけど、それを言い訳に原発再稼働に走るんじゃない、再生可能エネルギーを中心に新しいエネルギー・ミックスをつくりださなきゃ。

田中 原発大国のフランスと違って地震大国のイタリアでは国民投票で9割が脱原発を求め、大きく舵を切った。「フクイチ」の惨事で原発は採算が取れないと新自由主義経済論者は痛感したはずなのに、日本の電源構成比率に占める原発の割合を2030年に18〜19%にすると報じられたけど、それって「誤差の範囲」でしょ（苦笑）。この間まで2割台と言ってたんだから。

浅田 教皇は、私の在位は長くないかもしれないって言って、先代ベネディクト16世を継いで生前退位の慣例をつくっていくこともあり得る。他方、チベットのダライ・ラマ14世が、自身の死後「生まれ変わりを後継者に選ぶ輪廻転生制度を廃止すべきだって言ったら、中国が「そんなことは個人で勝手に決められない」って反発してるんだけど、中国共産党は唯物論に基づくマルクス主義政党じゃなかったのか（笑）。中国政府は自分たちの掌中にあるパレンチエン・ラマを推すと同時に、ダライ・ラマ14世の死後、そつちも自分たちに都合のいいやつをダライ・ラマ15世にしたいんだらうけどね。ともあれ、ローマ教皇やダライ・ラマのみならず、王室や皇室って制度も、もう限界なのかもしれない。安倍首相がタカ派路線を突っ走る一方、高齢の天皇・皇后が敵味方を問わず戦没者を慰霊するためベリリユー島まで行くっていうハト派のイメージでそれをカヴァーしてる恰好だけど、いつまでもそれに頼っちゃいけない。そもそも安倍首相が本物の右翼なら、恥ずべき事態だと思っただけねえ。